

※一部非公開

平成31年度  
沖縄県立看護大学  
一般選抜（前期）試験問題

出題の意図

近年、人工知能（AI:Artificial Intelligence）技術の開発が盛んとなっている。オックスフォード大学の研究チームによると、AI化に伴い702種に分類したアメリカの職業の約半数が消失し、全雇用者の47%が職を失う恐れがあるとされており、日本においても同様の状況が予測される。医療や看護等の分野においても活用が期待される一方、看護を行う上で必要となる対象者の背景を踏まえたコミュニケーションやアセスメントはAIで代替することは困難である。これらの点を踏まえて、AIが看護にもたらしうる影響やAIでは代替し得ない看護の役割について受験生に問いかける題材を選択した。論理的に説明する力を問うとともに、受験生が自身の大学での学びにおいて何を重視しようとするかを問う問題とした。

**【問題】**以下の文章を参考に、人工知能技術が今後の看護の仕事に与える影響についてあなたの意見を述べなさい。またその内容を踏まえ、あなたが大学で学ぶべきことは何かについて述べなさい。（800字以内）

※非公開

（井上智洋著、『人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊』、文藝春秋、2016年、より改編） 本文に注釈（\*）を加えた。